

## ヒグマと出会わないために（引率者用資料）

### 1 ヒグマの基本的な性格

- 基本的にとっても臆病で、基本的に人間を避けます。だから、突然出会うとパニックになって襲うことがあります。
- 警戒心が強く、朝晩、曇りや霧などで活発に動き回ります。
- 子熊がいるときには、守ろうとして向かってきます。
- 走って背中を見せて逃げるものは本能で追いかけます。
- 一度食べて美味しいと思うと、とても執着して何度も食べたがります。人間が美味しいものを持っていると思うと、寄って来るようになってしまいます。

### 2 ヒグマの性格を踏まえて出会わないために行うこと

- 集団で行動し、一人になる状況を作らない。朝晩は山に入らない。
- 人間の存在を知らせるために、鈴など音のなるものを必ず携帯する。
- 見通しの悪いカーブなどでは、先に音を鳴らして人間が来ていることを知らせる。
- 食べ物。ゴミを残してこない。食べながら歩かない。
- 熊の足跡や糞、獣臭などの痕跡を見つけたときには、そのまま引き返す。（特に子熊の足跡は危険）

### 3 出会ってしまったら

- 絶対に大声を出さない（特に悲鳴など甲高い音は熊を刺激します）
- 追い払わない（脅かす、ものを投げつけるなどは厳禁）
- 背中を見せない、走らない（本能で追いかけてきます）

【一般的に良いとされている方法】（とにかく刺激せずに遠ざかることが大事）

- ※ 熊が人間に気づいていなければ、そっと引き返す。
- ※ 熊から目を離さずに、優しく話しかけながら後ずさりして遠ざかる。  
（走らない、背中を見せない、熊に危害を加える気はないことを伝える）
- ※ 熊の気をそらすため、手持ちの物を置きながら遠ざかる
- ※ ベルト、紐など蛇と間違えるようなものを置く
- ※ 撃退スプレーを使う（ただし4～5Mほど直前に迫ってからでないとうまく効果なし）
- ※ 襲ってきたら、急所の鼻を攻撃する
- ※ 襲ってきたら、リュックや手で首の後ろと、うずくまって腹を守る。

都市中心部でも熊が出没する時代です。施設周辺にもいると思って行動することが大事です。ネイパル森では、屋外の活動を安全に行うために、活動前に熊の追い払いを行う他、熊よけ鈴、無線機の貸し出しを行っています。熊と出会った、痕跡を見つけたときには、すぐに無線等でネイパル森へ連絡してください。